

がんばって ます

コロナの中で…

随時掲載

新型コロナウイルスの影響で休館していた合志マンガミュージアム（合志市御代志）が2日から一部再開した。今後の「本格始動」を前に、施設の魅力発信強化に向け、インバウンド（訪日外国人）対応やイベントの準備を進めている。

同館は約4万冊の漫画を収蔵し、新型コロナウイルスの感染拡大前は、市内外から多くの家族連れや愛

合志マンガミュージアム（合志市）

海外にも魅力発信

好家が来館していた。閲覧室には排煙窓と換気ダクトがあるが、十分な換気が難しいとして、3月1日から休館していた。この間、スタッフは本の消毒や汚れ取り、透明ブックカバーの装着など蔵書の整理を進めながら、再開に備えた。

休館中の4月、市域おこし協力隊に着任し、同館スタッフになった安在渉さん（24）は今春、崇城大芸術学部を卒業したばかり。6月28日に漫画に関する講座を開く。「被写体の特徴を捉えた絵の描き方を伝えた」と安在さん。

中国出身の研究員、唐超さん

（29）は、中国語と英語のパンフレットを製作中で、「漫画をインバウンドにつなげたい」と意気込んでいる。（木村恭士）
メモ 条件付き開館で定員35人。利用は中学生以上で、入館には事前の電話予約が必要。☎096（273）6766。



合志マンガミュージアムの閲覧室「キューブゾーン」で蔵書を整理する安在渉さん（手前）と唐超さん（合志市